

2013年11月19日

各 位

株式会社東芝
オリックス株式会社

岐阜県奥飛騨温泉郷中尾地区での 地熱発電事業の推進について

株式会社東芝（本社：東京都港区、社長：田中 久雄、以下、「東芝」）とオリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮、以下、「オリックス」）は、地熱発電事業会社を共同で本日設立し、新会社を通じて岐阜県奥飛騨温泉郷中尾地区において地熱発電事業を推進します。

新会社の名称は「中尾地熱発電株式会社」（以下、「中尾地熱発電」）で、東芝が55%、オリックスが45%を出資します。中尾地区の源泉は蒸気量が豊富で高温であり、地熱発電に適していると評価されています。中尾地熱発電は今後、中尾地区内で源泉の調査や噴気試験、周辺環境の調査を通して事業性を検証します。事業性が実証された場合、2015年の発電開始を目標に発電出力2,000kW(2MW)規模の地熱発電所の建設を進める計画です。今後、有限会社中尾温泉と協力し、温泉地域と共生した地熱エネルギーの活用を目指して事業を推進します。

設置予定の地熱発電設備は、出力1,000～2,000kW（1～2MW）のコンパクトな東芝製発電設備「Geoportable™（ジオポータブル）」で、据付工期が短いことなどが特長です。

東芝は、グローバルで地熱発電設備の約半世紀にわたる納入実績があり、世界トップシェア^注を確立しています。今回、地熱発電事業に参入することで、再生可能エネルギーの普及に貢献するとともに、水力、太陽光、風力発電システムなど再生可能エネルギー事業の拡大を図っていきます。

オリックスは、太陽光発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギーを活用した発電事業を積極的に推進しています。また、温泉旅館の再生事業としてグループで運営している「杉乃井ホテル」（大分県別府市）では、自家用では国内最大規模となる最大出力1,900kW(1.9MW)の地熱発電所を保有・運営しています。オリックスは、発電事業と温泉旅館の運営ノウハウを生かして地熱発電事業に参入し、全国複数カ所で事業化を目指すとともに地域の発展に貢献してまいります。

注 発電設備容量ベース（東芝調べ）

■ 「中尾地熱発電」概要

社 名：中尾地熱発電株式会社
設 立：2013年11月19日
資 本 金：1億9,800万円
出資比率：東芝 55% オリックス 45%
所 在 地：岐阜県高山市
代 表 者：代表取締役社長 柴垣 徹
事業内容：地熱発電による電気供給業

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社東芝 広報・IR室 TEL：03-3457-2100

オリックス株式会社 グループ広報部 堀井・柴田 TEL：03-3435-3167